

上川流域会議下流域ワーキンググループ 第5回会議記録

日時 平成16年 8月19日 (木) 18:30～21:00
場所 長野県諏訪合同庁舎 501会議室
出席者 (敬称略) 12名

議 題

- 1.記録係の設置
- 2.県修正検討案の説明と質問 建設事務所
- 3.今後の進め方と次回日程

1.記録係の設置

会議の記録係を3氏に依頼した。

2.県修正検討案の説明と質問 建設事務所

[A区間について]

資料-1 A区間平面図 資料-2 A区間縦断図 資料-3 A区間横断図

[県の説明]

・A区間の基本形(案)として聞いて頂きたい。

内容は、今までの流域協議会の提案を考慮して作成した。(ポイント ~ は主として使用した

ポイント 「高水敷は両岸5m、高さは、河川常時満水位より30cm高くするを目安とする

ポイント 「河床は河口～0.3kmを計画河床高として整備する。」

ポイント 「嵩上げ・引堤については、川沿いの市・区・住民の合意を図る」

ポイント 「左岸は最大限の嵩上げをして流下水量の不足分を右岸を引き堤で補う。」

ポイント 「堤防天端は、左岸・右岸と同じ高さとする。」

- ・高水敷を両岸とも5mを設け常時満水時より30cm高くする。
- ・左岸堤防高は既成取付道路の機能を考慮して計画堤防高を求めた。
- ・右岸引堤は、堤防本体が、概ね5mを考えている。プラス水路などが加わる。
- ・引堤は、六斗橋上流～新六斗橋まで必要となる。
- ・新六斗橋地点は、歩道橋を持ち上げる事で引堤を小さくする。
- ・洪崎橋は、架け替えを行う。
- ・高水敷と河床の境界は、低水路法面を設け水生生物、魚類の生息場所とする。

[意見・質問と回答] (要点のみ) (詳細は別紙参照)

堤防の嵩上げについて

引堤の規模について

歩道橋の持ち上げについて

[B区間について]

[県の説明] 略

[意見・質問と回答] 略

[全体について]

*WG長より

A区間について、OKで良いか。B～C区間は意見並列でグループの意見としたい。
旨の提案があった。

*メンバーより

- ・A区間の県の提案は、WGの提案を反映している。
- ・地域の人の意見も聞いてほしい。

*県より

- ・地権者への工事計画説明は、河川工事計画が、発生した時点で行う。
- ・流域協議会の意見だけでGOとはいかない。
- ・国には大まかな図面を出したい。

3.今後の進め方と次回日程

*WG長より

いずれ、宮川も含めて検討したい。

宮川上流を茅野～富士見から見たい。

次回 下流域WG会合日程は、運営委員会で決めます。

*メンバーより

一同 了承

以上

[A区間について]

[意見・質問と回答] (詳細)

堤防の嵩上げについて
引堤の規模について
歩道橋の持ち上げについて

Q: 六斗川上流で堤防道路から直接、自宅に入っている住宅はない。
堤防の高さを上げる事で流下能力を上げる事は出来ないか？
車で入る家が2戸ある。

A: 検討して見ます

Q: 右岸・左岸の堤防高さの差は？

A: 右岸の方が50～60cm低い。

Q: 杉菜池側はどのくらい上げるのか？住民に抵抗がある。

Q: 5m引き堤となれば、動かす家が出てくる。

Q: 新六斗橋と六斗橋は、どうするのか？

A: 架け替えない。

Q: 架け替えれば堤防の嵩上げができるか？

Q: 5m引き堤すれば、「せぎ」がとれなくなる？

A: 工事を行う前段階で用地買収を含めて当然関係者と協議する。

Q: 新六斗橋の歩道橋が流下能力の妨げとなるとの事で持ち上げるとの事だが、
歩道橋の工事は3～4年前だ。その時の設計図を見せて欲しい。

なぜ流下能力の妨げになる橋を許可したか？

A: もしかすると蓼科ダム計画を見こんでいたかもしれない。

Q: ダム計画は、神橋までだった。それより下流は、計画がなかった。

Q: 許可する県が、気づかなかったのは不思議だ。

Q: 単に歩道としての機能を優先して架けたのではないか。県の意見を聞きたい。

A: 工事の前に河川占用の許可を取る必要がある。

今回 流量計算をし、六斗橋の断面に合わせる必要がある。

Q: ばらばらにやっている様にみえる。上川大橋を作ったときの計画は、どうだったのか？

Q: 県の公式見解、流下能力データは3つある。

橋を作ったときは、どう云うデータに基づいていたのか？

WG長

県で調べてもらって回答してもらいます。(一同、同意)

Q: 5m引き堤したときの取り付け道路はどうなるのか？

A: 細かい部分の設計はできていない。細かい測量、調査は、まだやっていない。

現堤防の材質などの調査も必要だ。情報があれば教えて欲しい。

出入口など付属道路などは、築堤が行う時点で重要な協議事項だ。

個々の状況によっては一律5mとはいかない。状況によっては、プラス部分もある。

WG長

資料 - 1 A区間平面図 資料 - 2 A区間縦断図 資料 - 3 A区間横断図

についての質問はここまでとします。

以上